

コミュニティ福祉学会第 11 回年次大会 総会資料

(2018 年 10 月 27 日)

木下 武徳 (2018 年度事務局長)

年間活動報告 (2017 年 11 月 12 日～2018 年 10 月 27 日)

～総会次第～

1. 運営委員長挨拶 2. 年間活動報告 (木下事務局長)
3. 運営委員会体制と委員の承認 (木下事務局長)
4. 研究実践奨励賞授賞式 (三本松運営委員長) 受賞のことは (受賞者)
5. 事務局からのおしらせ (木下事務局長)

I. 総論

- ・会員数：2018 年 10 月 27 日現在、登録会員 494 名、学生会員 1,769 名、会員総数 2,263 名
- ・運営委員会：計 6 回 (各回土曜日、於：池袋キャンパスまたは新座キャンパス、18 時～) 平均出席数 17 名
- ・主な活動：第 11 回年次大会開催に向けた準備、学会誌『まなびあい』第 11 号の発行、研究実践奨励賞の選考

II. 活動報告

日 時	内 容
年次大会	
2017.11.11 第 10 回年次大会	大会テーマ「<コミュニティ福祉に今問われていること>-過去を知り、未来を拓く-」 【シンポジウム】 関正勝先生、福山清蔵先生、坂田周一先生、沼澤秀雄先生 【分科会】 10 件 約 58 名 【第 3 回研究実践奨励賞授賞式】
運営委員会	
第 5 回	17.12.9 【議題】 第 10 回年次大会の総括、今年度活動の総括
第 6 回	18.2.24 【議題】 2018 年度の運営委員会への申し送り事項について
第 1 回	18.5.19 【議題】 2018 年度の運営委員会体制の決定、第 11 回年次大会の概要について 研究実践奨励賞選考委員会 【その他】 第 1 回委員会より 2018 年度新委員により運営開始
第 2 回	18.6.16 【議題】 第 11 回年次大会の大会テーマの確定・プログラムについて検討、 講演会講師候補の選定、第 4 回研究実践奨励賞受賞作品の決定
第 3 回	18.9.22 【議題】 第 11 回年次大会のプログラム詳細の決定
第 4 回	18.10.6 【議題】 第 11 回年次大会役割分担の決定
編集委員会	
第 1・2・3 回 運営委員会時に開催	学会誌『まなびあい』発行に向け、本誌内容や募集要綱の検討、編集作業を行う。
学会誌	18.5.24 学会誌『まなびあい』第 11 号の原稿募集の案内
学会誌	18.10.19 学会誌『まなびあい』第 11 号発刊
事務局	
機関誌	18.9.27 ニュースレター『まなびあい通信 Vol.10』を発行。会員に配信、発送する

立教大学コミュニティ福祉学会

— 2018 年度運営委員会体制 —

総会（第 11 回年次大会）

運営委員の承認

2018 年度 運営委員会

●運営委員長： 三本松 政之（コミュニティ福祉学部長）

●副運営委員長

教員： 木下 武徳

卒業生： 坂田 拓朗

院生・学生： 鶴田 真菜

●運営委員：委員長・副委員長含め計 23 名

※以下の専門委員会に分かれ、必要な実務を行う。

事務局

事務局長：
木下 武徳（コミ政）

事務局次長：
結城 俊哉（福祉）

事務局員：
大野 有加

大会実行委員

委員長：
木下 武徳（コミ政）
副委員長：
富田 文子（分科会）
湯澤 直美（講演会）
大川 真央（懇親会）
運営委員：
三本 松政之、結城 俊哉
濁川 孝志、小長井 賀與
権 安理、斉藤 知洋
浅井 春夫、坂田 拓朗
大冢 賀 政昭、寺脇 幹彦
大石 希、菅原 愛和
麻野 美和、鶴田 真菜
鍛冶 智子、竹内 悟
江村 拓哉、高野 仁菜
山口 歩美

編集委員会

編集委員長：
権 安理（コミ政）
副編集長：
小長井 賀與（コミ政）
濁川 孝志（スボ）
委員：
斉藤 知洋（コミ政）
江村 拓哉
菅原 愛和
事務局員：
海老原 絵梨子

広報委員会、HP

広報担当：
坂田 拓朗
HP：
濁川 孝志（スボ）

立教大学コミュニティ福祉学会 第4回研究実践奨励賞

中山 健二郎さん（スポーツウエルネス学科 2012年卒業）

『鼓動』

（『まなびあい』10号所収 実践記録）

清水 潤子さん（コミュニティ福祉学科 2008年卒業）

『アメリカの難民支援の現場から』

（『まなびあい』10号所収 現場からの声）

中山健二郎さんと清水潤子さんが研究実践奨励賞授賞式にご出席され、授賞のスピーチをしていただきました